

2013年7月23日

陸上世界選手権 着用スパイク 飯塚翔太選手の陸上スパイクについて

この夏に開催される陸上世界選手権で飯塚翔太選手が着用するスパイクが完成しました。

飯塚選手の走り方を分析した結果、足裏の外側から着地し、次に母指球と親指で強く蹴り出していることがわかりました。この動きをよりスムーズにするため、最初に地面に接地する足裏外側のピンの長さを短くし接地時の安定性を高め、スムーズな体重移動を可能にしました。

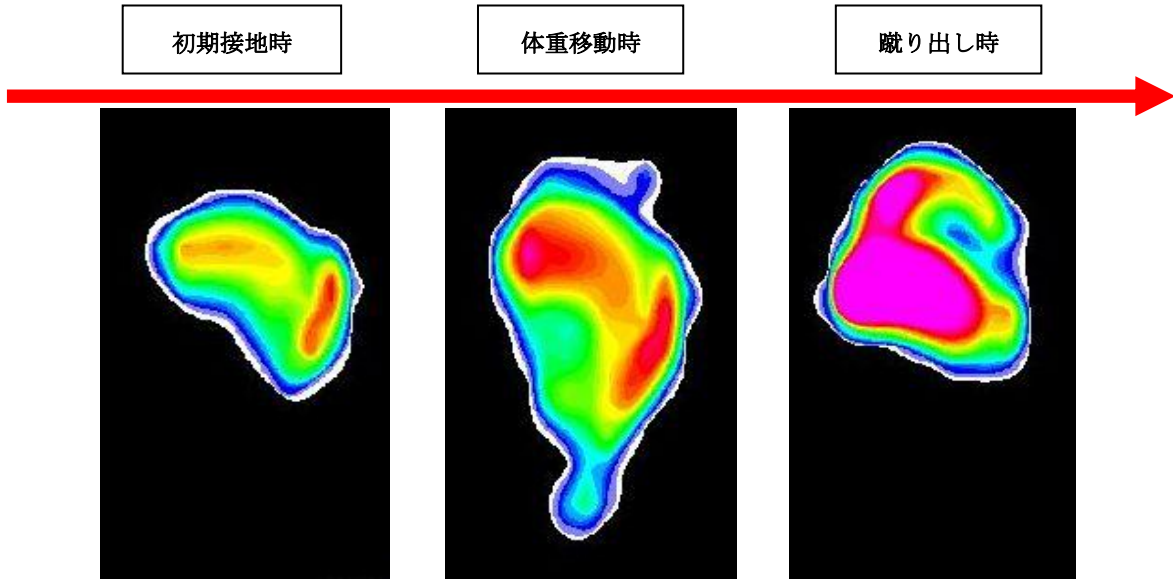
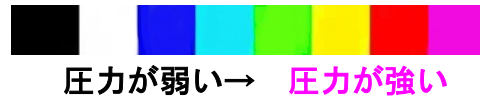
また200mと4×100mリレーに出場する飯塚選手のパフォーマンスを最大限に高めるために、それぞれの種目用に2種類のスパイクを開発しました。ピンの形や配列などを変更しています。

スパイクのカラーは、2014年春夏のプロモーションカラーである『白光』をイメージした白いラインに、それを際立たせる深い闇を表現したブラック×ホワイトを着用します。



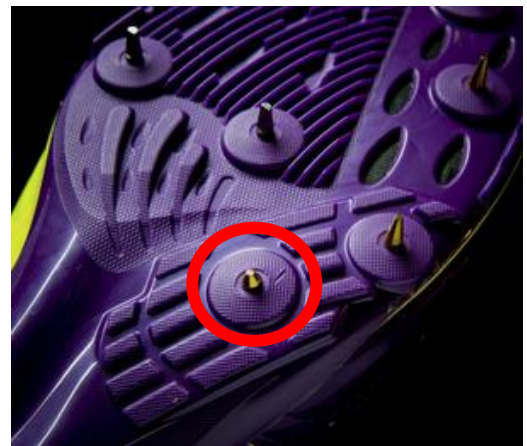
飯塚翔太選手着用200mスパイク/4×100mリレースパイク

■飯塚翔太選手 着地の際の足圧分布図



■スムーズな体重移動を可能にするピン構造

飯塚選手は足裏の外側から着地し、母指球と親指で蹴り出していることがわかりました。この動きに合わせ、最初に地面に接地する足裏外側のピンの長さを、他部分に装着している7mmのピンより4mm短い3mmにすることで接地時の安定性を高め、スムーズな体重移動を可能にしました。



初期接地の安定性を高めた短いピン

■種目ごとに、スパイクのピンの形や配列を変更

ピンの形や配列などを、種目ごとに変更しています。200mでは、足裏の中足部分に丸型のピンを4本配列し安定性を高めました。また蹴り出し部分の屈曲性を高め、コーナーで蹴り出しやすくしています。

アンカーを務める4×100mリレーでは、母指球部分に足長方向の凸凹溝を設けることにより、ソールを硬くしたスパイクを用意しています。これにより蹴り出す際にプレートが元の形に戻ろうとする力を高めました。またピンの形状を半円型にすることで、前方へ蹴り出す力を最大限引き出し、最後の直線での加速をサポートします。



200m

4×100mリレー

記

■飯塚翔太選手 スパイク 仕様

【重量】 200m用：163g（片方28.0cm）

4×100mリレー用：162g（片方28.0cm）

【素材】 甲被材／合成繊維（ウレタンメッシュ）、人工皮革（マイクロSK）、
補強材／合成繊維（ダイニーマ）、
底材／合成樹脂（EVA）、合成底（ナイロン樹脂、金属製固定ピン）

（報道関係者のお問合せ先）

東京広報課	澤井・田村	TEL：03-3233-7037
大阪広報課	薬師寺・木村	TEL：06-6614-8373

（お客様のお問い合わせ先）

ミズノお客様相談センター



0120-320-799

* ミズノ・インターネット情報は<http://www.mizuno.jp>